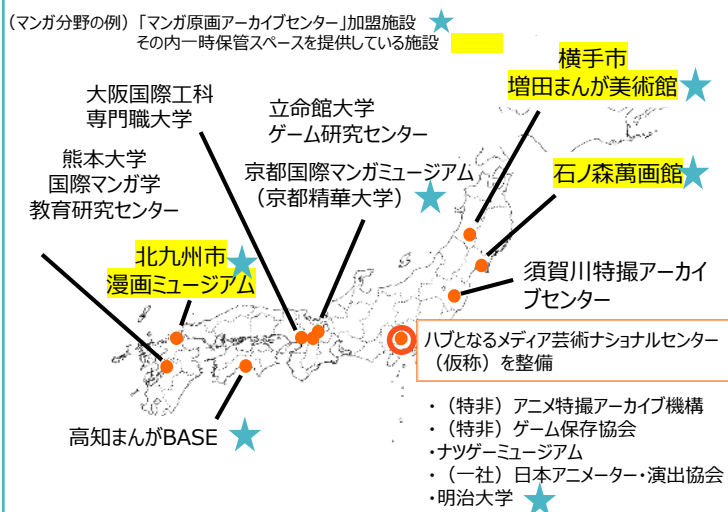


文化庁「メディア芸術連携基盤等整備推進事業」(R2～)の主な取組について①

全国関係機関がネットワークを構築し、アーカイブ資料所在情報の一元的な把握・発信、マンガ原画等の一時保管、相談窓口設置、人材育成、調査研究等の機能を分担して担う取組を支援。

①マンガ・アニメ等のアーカイブ機関等のネットワーク化

マンガ原画一時保管（約39万枚、R5年1月時点）、相談窓口の設置、データベースの登録（約150万件）等に対応。



②アーカイブを推進する民間企業のネットワーク化

●マンガ：一般社団法人マンガアーカイブ機構

文化庁のマンガ関連事業に携わってきたメンバーとコミック出版社の会に所属する出版社等で組織。マンガ原画等の収集・保存に向けたアーカイブの構築と調査研究等を実施。

構成団体：マンガ出版社15社：KADOKAWA、講談社、集英社、小学館等
民間団体：横手市増田まんが美術館
大学：京都精華大学、熊本大学
ならびに自治体等

●アニメ・特撮：特定非営利活動法人アニメ特撮アーカイブ機構

アニメや特撮に関する様々な資料を保全し、これらを活用した普及啓発等を実施。

理事長：庵野 秀明(監督、プロデューサー)
副理事長：氷川 竜介(アニメ・特撮研究家)、樋口 真嗣(監督、特技監督)
関連団体：アニメ・特撮関連企業：アニプレックス、KADOKAWA、カラー、バンダイナムコフィルムワークス等

③マンガやアニメ等の保存・活用に取り組む自治体の連携会議(約30自治体等・年2回開催)

参加団体：北海道庁、札幌市、札幌芸術の森美術館、岩手県庁、横手市、須賀川市、石巻市、新潟市、新潟市漫画・アニメ情報館、新潟大学、公益財団法人日本科学技術振興財団、さいたま市立漫画会館、千曲市、長野県立美術館、立命館大学、京都市、京都精華大学、京都芸術センター、精華町、鳥取県庁、境港市、北栄町、青山剛昌ふるさと館、山口情報芸術センター、高知市、横山隆一記念まんが館、長崎市、熊本県庁、大津町、熊本県合志市合志マンガミュージアム、熊本大学、湯前まんが美術館、山都町、宇城市、大分県立美術館、佐伯市

文化庁「メディア芸術連携基盤等整備推進事業」(R2～)の主な取組について②

【相談窓口概要】

各地の個人・団体からの保存・活用にかかる相談を受け付ける窓口を開設。

マンガ分野(原画)・・・R2年度運用開始

マンガ原画アーカイブセンター((一財)横手市増田まんが美術財団)が運営。原画を保有する人・施設などの相談に応じ、原画一時保管施設やアーカイブ方法のレクチャーなどの対応を行う。

累計相談件数(R2～R5) 合計57件

マンガ分野(刊本)・・・R5年度運用開始

マンガ刊本アーカイブセンター(運営：熊本大学文学部附属国際マンガ学教育研究センター)が運営。マンガ雑誌、単行本等を保有する個人・団体、ならびにマンガの利活用を希望する個人・団体から相談を受け付ける。展示開催に必要なマンガ資料の提供などを行う。

累計相談件数(R5～R6) 合計14件

アニメ分野、ゲーム分野・・・R7年1月開設

マンガ原画窓口の相談・解決のイメージ

窓口で相談があり、メール・電話・対面などいずれかのヒアリングを経て、内容に応じた保管方法を提案する。希望によってはマンガ原画の物理的な一時保管をする。権利は所有者に残り、必要に応じて返却も可能。今後は所有者の承諾のもと利活用も検討していく。

【一時保管機能概要】(マンガ原画分野を先行着手)

中間生成物・流通資料を一時的に受け入れる設備。所有者が寄託寄贈を希望する資料について、本事業によって形成されたネットワーク内で情報共有し、各地でアーカイブ活動を実施する最適な組織で受け入れる。また、受け入れた施設による展覧会の実施や、ネットワークによる資料の貸与など利活用の契機ともなる。

一時保管施設の一部



横手市増田まんが美術館



北九州市漫画ミュージアム



石ノ森萬画館

マンガ原画一時保管総枚数
約391,500枚(R5年1月時点)

作家(例)	代表作	作家(例)	代表作
山田芳裕	へうげもの	柴田昌弘	『赤い牙』シリーズ
花村えい子	霧のなかの少女	市川ジュン	陽の末裔
オキモト・シュウ	神の雫	よしながふみ	大奥
谷岡ヤスジ	ヤスジのメッタメタガキ道講座	PEACH-PIT	ローゼンメイデン